

人生ハンド仏句

第91号

H.21.10.1
(毎月1日発行)

編集・発行

玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX (0765)22-2268

メールアドレス

kokorochanthk@ybb.ne.jp

ホームページアドレス

[http://www.geocities.jp/](http://www.geocities.jp/siniyoujitoyama108/)

[siniyoujitoyama108/](http://www.geocities.jp/siniyoujitoyama108/)



よ
たね やしな
善い種を養う

住職 谷川寛俊

幕末に、山岡鉄舟という日本一といわれた剣豪がいました。大変な信仰家でもありました。

鉄舟は、清水の大親分である次郎長と友人でした。あるとき、「喧嘩で負けない秘訣」とは何かと鉄舟は清水の次郎長に尋ねました。すると次郎長は、「最初に相手がどれだけの力量を持っているのかを知ることが重要だ。相手と向き合い、剣先と剣先を交えたとき、少しでも剣先を相手側に押し出してみよう。すると直ぐに反応して押し返してくるのは、弱い証拠で、冷静ではなくなっているのです。場で切り捨ててしまおう。しかし、押し出した分、引いてくる者がいる。こういう人は、強いのでなりふり構わずに逃げる方がよい。」と答えました。

私達の日常でも、剣を交える訳ではないが、似たようなことがあるのではないだろうか？ 売り言葉に買い言葉、ちよつとつつかれただけで、言い争いになってしまつたりします。ある時、お釈迦様のもとに、文句を言いに来た若者がいました。

「あなたは托鉢（たくはつ）などと言つて偉そうにしているが、人からただで食べ物などの布施をもらっている。世の中には、汗水流して一生懸命働いている人も多いのに……」等とさんざんののしつていました。その一言一言にお釈迦様は何も言い返すこともなく聞いていました。言いたい文句を全て言い終わつた若者にお釈迦様は、「それですべて言ったのか？ それではバイバイ」と何も言ひ返すことなく帰つて行きました。ところがお釈迦様の後ろで一緒に話しを聞いていたお弟子さん達は、お釈迦様をバカにされ怒り心頭です。そしてお釈迦様に、「どうして一言も言い返さないのでですか？」と尋ねました。するとお釈迦様は答えました。

「おまえ達は毒蛇を持つてきたとしたら、受け取るのか？ 何も相手にしなかつたからこそ持つてきた相手が毒蛇を持つて帰るしかないのだ。あの若者はさんざん悪口という悪心を持つてきたが、悪心をそのまま持つて帰つたんだよ。」

私達は、人の噂が大好きです。ややもすると、愚痴・悪口を言っている時が一番生き生きしている人もいます。たいていそう言う人は、人から嫌われていることに気付いていないものです。

毎朝のお勤めの後、水子さんの御宝前で観音経をお唱えします。その中に「還著於本人（げんじやくおほんにん）」という一偈が出てきます。相手に何か悪口を言えば、「還著於本人」その悪口が即ち自分に返つてくるといふのです。

人の善行は、上七代下七代に伝わり同時に悪行もまた、上七代、下七代に伝わりと言われています。私達は自分一人だけの身体や人生を生きているわけではありません。本当によくよく心に銘じなければなりません。

偶然を 必然にするために 人は生まれてきた